

## 文化講演会



## 模擬店

## 屋外ステージ



## 第31回 紅翔祭 10月5・6日

個性の違う一人一人が楽しみ、輝く日にしようという意から「燦燦(さんさん)」をテーマに実施しました。今回は模擬店が昨年より大幅に増加したほか、芸能人のお笑いライブや講演会にも多くの方にご参加いただきました。来場者数は昨年のおよそ1.5倍の2300名となり、にぎやかな雰囲気の中で無事に大学祭を終えることができました。大学祭を成功に導いた経験を、今後の学生生活に活かしていきたいと思えます。

紅翔祭実行委員長  
情報システム学科3年 中山 永遠



## 体育館ステージ



## 屋内イベント



## ビンゴ大会



2024  
紅翔祭

◆今号から、より多くの人が見やすく、読みやすくなるように、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。

## CONTENTS

## 2面

学外実習・インターンシップ  
新潟県高校生英語スピーチコンテスト

## 3面

在外研修報告  
表彰奨学金授与式  
独自奨学金の申し込み終了

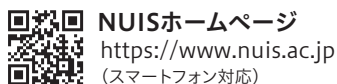
## 2・3面

教員の活動

## 4面

海外実習プログラム  
カンボジアでボランティア活動  
交換留学生のひと言

AI活用教育プログラム  
文科省の「MDASH」  
認定決まる



## 学外実習

## B・S・N新潟放送

かし、実習を重ねる中

私は8月26日から9月6日までの2週間、株式会社新潟放送でのインターンシップに参加しました。新潟放送では、オーディオコンテンツ部をはじめ、報道部や事業部など、10日間で7つの部署に実習生として受け入れていただきました。

今回のインターンシップを通じて特に感じたことは、「組織プレイ」の重要性です。最初にこの言葉を聞いたときは、「誰とでも協力する」という意味だと考えていました。し

## 組織プレイの大切さ実感

いるマスメディアが、多くの人々によって支えられていることを現場で学ぶことができ

た貴重な体験となりました。今回得た経験や学びは、就職活動に限らず、様々な場面で生かしていきたいと考えています。

また、普段何気なく触れていた貴重な体験となりました。今回得た経験や学びは、就職活動に限らず、様々な場面で生かしていきたいと考えています。

(経営学科3年 滝澤 明梨)



テレビ制作部のスタッフに動画の編集を教わる滝澤さん

## インターンシップ

## ANAクラウンプラザホテル新潟

私は8月5日から9日までの5日間、ANAクラウンプラザホテル新潟でのインターンシップに参加しました。

## 一歩踏み込んだ接客学ぶ

インターンシップでは、ホテルを利用するお客様の案内などのベルスタッフ業務を行いました。初日は業界研究や新入社員研修

テルにいられたお客様をお部屋まで案内するなど、内容の濃い充実した5日間でした。ベルスタッフ業務は、お客様のお出迎えから館内や周辺施設のご案内、荷物の運搬など幅広い業務を担っています。

海外からのお客様には英語を使うこともあり、学内の学びの成果を生かすことができました。



ベルスタッフ業務を行う石山さん

特に印象に残ったことは、

「お客様にフアンになってもらう」ということです。何年も利用されているお客様か、ホテルスタッフのあたたかさや一歩踏み込んだ親しみやすさから、当ホテルを選んでいただき

(国際文化学科 3年 石山 美野里)

## 県高校英語スピーチコンテスト

本学主催の「新潟県高校生英語スピーチコンテスト」が10月5日、本校みずき野キャンパスで紅翔祭と同時に開催されました。コンテスト

は、英語を学ぶ若者が世界の異文化や諸問題への関心を高め、英語学習の一助となることを目的に毎年行われます。

今回のテーマは「AI & Tech in Life」。県内の高校3校から5名が参加。

## 最優秀賞に張展寧さん(開志国際高3年)

テーマの適切さ、発音、表情、質問の理解度などを総合的に審査した結果、最優秀賞に開志国際高3年張展寧さん、優秀賞に同高2年伊藤愛梨さん、北越高3年八幡望さん、審査員特別賞に第一学院高2年高橋楓さん、開志国際高2年楊宗澤さんが選ばれました。

(国際交流委員長 鈴木 佑也)



本学教職員および審査員とコンテスト参加者のみなさん

### 佐藤 泰子(国際文化学科・講師)

- ・(2024年3月18日)「言語学と観光学における実践」弥彦村教育委員会 令和5年度 第4回小中英語指導連携会議(弥彦村役場)
- ・(2024年8月22日)「Boosting EFL Speaking Confidence and Proficiency with ChatGPT: Japanese vs. Korean learners」Sato, Y., Kudaibergenov, M., & Konta, I. The 22nd International Conference for Media in Education (ICoME 2024), Meiji University, Nakano Campus.
- ・(2024年8月23日)「Kyrgyzstan Unveiled: Perspectives, Peace, and Pathways to Understanding」Kudaibergenov, M., & Sato, Y. The 22nd International Conference for Media in Education (ICoME 2024), Meiji University, Nakano Campus.

### 鈴木 佑也(国際文化学科・准教授)

- ・(2024年6月28日)「Collective Living Projects in the Soviet Era: 'Kritovo' and the Architectural Group NER's Innovations in Architectural Form Mid- to Late-1960s」ICEESS 2024 (ソウル・漢陽大学)

### 近山 英輔(情報システム学科・教授)

- ・(2024年9月10日・11日)「Prototype of Point cloud-Captioning Model for Jomon Pottery」ESTCON 2024 (ICSC 2024) Kota Kinabalu, Malaysia

### 藤瀬 武彦(経営学科・教授)

- ・(2024年8月31日)「一般男女大学生におけるフリーウエイト運動の1RM相対重量での最高反復回数の性差及び種目差-ベンチプレス及びパラレルスクワットについて-」日本体育・スポーツ・健康学会第74回大会(福岡大学)

### 堀川 祐里(国際文化学科・准教授)

- ・(2024年8月9日)「Women Workers' Health Rights」The IFRWH (The International Federation for Research in Women's History) Tsuda University, Tokyo

### 山田 裕史(国際文化学科・教授)

- ・(2024年6月22日)「フン・セン体制下のカンボジアにおける政軍関係」日本比較政治学会第27

### 回大会(立命館大学)

- ・(2024年7月13日)「強化されるフン・セン体制——2023年カンボジア総選挙と世襲内閣の誕生」第18回日本カンボジア研究会(名古屋大学・オンライン)
- ・(2024年8月23日)「カンボジア——民主主義を装う独裁」2024年度「にいがた市民大学」前期講座「なぜ独裁体制は続くのか?」第4回(生涯学習センター・クロスバールにいがた)

### 3)競争的資金獲得研究

#### 小宮山 智志(経営学科・准教授)

- ・(2024年8月より新規~2024年9月)新潟市湿地プロジェクト補助金(令和6年度前期分)「ビッグデータを用いた「佐潟」における取り組みの効果測定」研究代表

### 4)委員・社会的活動・記事・その他

#### 小宮山 智志(経営学科・准教授)

- ・(2024年7月31日より新規~2026年3月31日)新潟市総合計画2030有識者会議(都市の活力向上部会)部会長(新潟市役所)
- ・(2024年7月29日より新規~2024年12月31日)新・新潟市教育ビジョン策定に関する有識者会議委員(新潟市ふるまちなか庁舎)

#### 藤瀬 武彦(経営学科・教授)

- ・(2024年8月12日~14日)第46回北日本学生陸上競技対校選手権大会副会長(石川県西部緑地公園陸上競技場)

#### 藤本 直生(国際文化学科・准教授)

- ・(2024年8月23日)【身近にあるアンコンシャスバイアスを知る】3回連続講座の第2回を担当「ドラマや映画からみえる社会」(新潟市豊栄地区公民館)

# サプライチェーンの途絶リスク

在外研修を行った仙台市では、2023年10月から客員研究員をしている東北工業大学のWell-Being Research所と、同年4月から在籍している東北大学大学院工学研究科の2拠点で研究を進めました。

研究の内容は、身近に存在する滞留や渋滞、また大きな問題となっているサプライチェーンの途絶リスクに



IIAI AAI 2023-Winterで発表する佐々木桐子准教授(インドネシア・パリ)

対し、現象を構造化(モデル化)して実験を行い、影

響の広がりについて検証を行うというものです(この研究成果は、インドネシアで開催された国際大会で発表しました)。

実は、研究と並行して大学院の授業を履修し、若い院生達に交じってグループワークや発表やレポートを必死にこなす(8科目14単位修得!)という荒行もしていました。

## 研究と人の「広がり」と深化」

嫌な汗も恥もたくさんかきました(この歳でかくのは、なかなかつらい!)、在外研修が終わった今、1

いたします。(経営学学科准教授 佐々木桐子)

# 在外研修報告

2023年9月から1年間、本学を離れ、龍谷大学と一橋大学に

## 欧州議会選挙の調査に参加

日本やベルギーの欧州政治研究者たちと、共同研究を進めることができました。

呼ばれるイベントにも参加できた。欧州議会の議場および周辺のカフェで夜通し



EUの欧州議会前での白井陽一郎教授(ベルギー・ブリュッセル)

間ほどブリュッセル(ベルギー)の首都でEUの本部に滞在し、調査した際には、メディアでも注目された農家のトラクター抗議に立ち会えた。抗議している農家の方は怖くなく、笑顔で写真を撮らせてくれた。また選挙ナイトと

ながら(ビールやワインを飲みながら!)多くの人々がこれからのヨーロッパに思いを寄せている空間は、なんだかんだ問題だらけではあっても、ヨーロッパこそデモクラシーを生み出した地であることを、改めて実感させてくれた。

# EU研究プロジェクト

(国際文化学学科教授 白井陽一郎)

# 表彰奨学金を授与

令和6年度表彰奨学金授与式が7月2日に開催され、越智敏夫学長より奨学金授与証書が手渡された後、激励の言葉が贈られました。

表彰奨学金は、学業成績優秀者(前年度の学業成績が各学年・各学科において特に優秀である者)および課外活動功労者(前年度の課外活動状況において顕著な業績をあげた者(個人、団体))に対し、授与するものです。

令和6年度表彰奨学金を授与されたのは次の通り。  
▽学業成績優秀者(各30万円)国際文化学学科6名、経営学学科6名、情報システム学学科3名  
▽課外活動功労者(1件5万円(2名以上の団体の場合10万円)個人5名(北信越陸上競技大会3位入賞等)、団体2組(10名)(新潟市観光通訳ボランティア等)



越智学長が奨学金授与と証書を手渡しました。(学生委員会)

# 独自奨学金の申し込み終了

今年度より創設された本学独自の奨学金制度への申し込みが終了し、【家族入学奨学金(入学金相当額を給付)】には12名(家族在籍支援奨学金(当該学期授業料の半額相当額を給付)には3名が採用され、給付が決定しました。本学では、今後も多様な学生支援策を行ってまいります。

# 教員の活動 (本人申告による)

## 1) 研究論文・図書

- 井堂 有子(国際文化学学科教授)
  - ・(2024年6月)『「人間の安全保障」としての食糧問題——ウクライナ戦争と中東・アフリカ、そしてガザの飢餓戦争』『季刊 農業と経済』2024年春号 英明企画編集株式会社 (48~57頁)
- 木村 誠(経営学学科教授)
  - ・(2024年9月) "Feature balance of scale and scope of data in AI platform firms" International System Dynamics Conference 2024 Proceedings, System Dynamics Society (1-28)
- 佐々木 桐子(経営学学科准教授)
  - ・(2024年8月) "Risks of Supply Chain Disruption and Market Concentration: Constructing Conceptual Models of Transaction Structures in Supply Chain Networks" Methods and Applications for Modeling and Simulation of Complex Systems, Springer (285-298)
- 堀川 祐里(国際文化学学科准教授)
  - ・(2024年3月)『社会民衆婦人同盟の分裂と女性指導者: 赤松明子と赤松常子に注目して』法政大学大原社会問題研究所/榎一江編者/法政大学大原社会問題研究所叢書『無産政党の命運: 日本の社会民主主義』法政大学出版局 (109~140頁)
  - ・(2024年3月) 第18回女性史学賞授賞式「生理休暇にこだわった女子学生が戦時日本に働く女たちに出会う」『アジア・ジェンダー文化研究』8号 (59~69頁)
  - ・(2024年8月)『戦時における女性労働: 女性たちの労働動員に対する態度の多様性』(招待あり)『日本労働研究雑誌』独立行政法人労働政策研究・研修機構 770号 (17~26頁)

## 2) 学会・研究会・講演等

- 今井 裕紀(経営学学科講師)
  - ・(2024年9月1日)「アンダーエンプロイメントと職務満足、離職意図、キャリア・コミットメントとの関係: ランダム切片交差遅延パネルモデルによる検証」産業・組織心理学学会第39回大会

- (文教大学・オンライン)
- 内田 亨(経営学学科教授)
  - ・(2024年8月31日)「水産養殖事業によるサーモン市場の進展」日本システムデザイン学会第5回研究大会 (香川大学・オンライン)
  - ・(2024年9月21日) Caroline Benton, Toru Uchida "A Preliminary Study of Emotional Contagion under Telework in Japan" 国際戦略経営研究学会2024年度年次大会 (桜美林大学)
  - ・(2024年9月21日) Remy Magnier-Watanabe, Toru Uchida "Antecedents of Emotional Contagion at Work in France" 国際戦略経営研究学会2024年度年次大会 (桜美林大学)
- 木村 誠(経営学学科教授)
  - ・(2024年8月26日)「SINDyアプローチによるデータ駆動型微分方程式の構造推定と応用」JSDカンファレンス2024 (新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス)
  - ・(2024年8月26日)「プラットフォーム競争の動的分析によるマルチホーム率回帰推定」JSDカンファレンス2024 (新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス)
- 小林 伊織(国際文化学学科准教授)
  - ・(2024年6月30日) "Global and/or Local: Taiwan's Journey Towards a Bilingual Nation" 日本「アジア英語」学会第53回全国大会 (金沢星稜大学)
- 小宮山 智志(経営学学科准教授)
  - ・(2024年8月30日・31日)「コロナ禍前後における健康に関する検索 行動の都道府県別分析」数理学会 (東北大学)
- 佐々木 桐子(経営学学科准教授)
  - ・(2024年8月23日)「離散系シミュレーションの交通課題解決への適用」日本経営システム学会 経営ネットワーク研究部会 (東北大学)
  - ・(2024年9月17日~20日) "Risks of Supply Chain Disruption and Market Concentration: Constructing Conceptual Models of Transaction Structures in Supply Chain Networks" JSSST 2024 and AsiaSim 2024 (兵庫県立大学)

## 海外実習プログラム

# カンボジアでボランティア活動

私は8月19日から9月1日までの約2週間、国際学部海外実習プログラムとして、カンボジアでボランティア活動に従事し、カレーの炊き出し、貧困世帯への訪問と寄付、インターン生として

「ティーチャー」と迎えてくれた子どもたち

## 小学校で英語授業を体験

小学校での英語の授業を行いました。私は高校生のときに国際協力に興味を持



カンボジアの生徒に英語の授業を行う石田聖葵さん

どの活動にも思い入れがありますが、小学校で子どもたちと過ごした時間は特に忘れられません。小学校に着くと、子どもたちは目をきらきらさせて、「ティーチャー」をもじった「チャー！」と言いながら駆け寄って来てくれました。子どもたちにはごみ箱に捨てるといふ考えが根付いていないため、私は学校に来たらまず校庭のごみを拾う作業から始めました。ごみ袋を持って校庭を歩いていると、子どもたちがごみを拾って持ってきた。

りました。念入りに授業の打ち合わせをして、子どもたちが家の手伝いやきょうだいの世話などで学校に来ることができず、人数が集まらない日もありました。子どもたちからはもちろん、実際に現地での生活体験を通して、幸せとはなにか、現地の人たちが必要としている支援とはなにかを考える機会を、幾度となく与えられました。人生の財産と言っても過言ではない経験になったと感じています。

て、気づいたら十数人でごみ拾いをして、今思い返しても、本当にかけがえのない時間でした。英語の授業では、簡単な英語とカンボジアの公用語であるクメール語を織り交ぜながら授業案を作りました。念入りに授業の打ち合わせをして、子どもたちが家の手伝いやきょうだいの世話などで学校に来ることができず、人数が集まらない日もありました。子どもたちからはもちろん、実際に現地での生活体験を通して、幸せとはなにか、現地の人たちが必要としている支援とはなにかを考える機会を、幾度となく与えられました。人生の財産と言っても過言ではない経験になったと感じています。

(国際文化学科4年 石田聖葵)

## 交換留学生のひと言

今秋から半年間、台湾の銘伝大学より1名の交換留学生を迎えました。留学生のチヨウさんに新潟での勉強やキャンパスライフなど、留学中の感想を寄せてもらいました。銘伝大学は台北をはじめ、台湾国内に4つとアメリカに1つのキャンパスをもち、18,000人近くの学生が在籍しています。本学とは2018年度に交換留学協定を締結して以来、交換留学生の派遣・受け入れを行っています。

## 雪景色にあこがれ新潟へ

憧れているからです。雪を見たところ

とがないので、ずっと雪に囲まれたところに住みたいと思っていました。ここでの生活はまだ1カ月もたっていませんが、大学のみんながとても親切で、私に日本語を勉強し続ける力を与えてくれました。これか

銘伝大学(台湾) 張 采萱さん

らも、みんなと仲良くしていきたいと思えます。



(左) 留学生の学生生活をサポートする留学生アドバイザーの国際文化学科3年 石黒彩乃さん  
(右) 留学生のチヨウ サイケンさん

## AI活用教育プログラム

本学のAI活用プログラムのための教育プログラム「リテラシーレベル」「応用基礎レベル」が、政府の戦略目標に沿った令和6年度文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(MDASH)」において、リテラシーレベルと応用基礎レベルの両方で認定を受けました。

## 文科省の「MDASH」認定決まる 応用スキルのさらなる深化目指す

本学はこの認定を通じて、日本の近未来における超スマート社会(Society 5.0)に求められる数理・情報学的思考力と倫理的視点を持ったAI活用能力を教養知識として持つ「教育された」人材を輩出し、社会に大きく貢献します。教育プログラムは文部科学大臣認定プログラムの修了証明を得ることになります。

(情報システム学科 教授 近山英輔)



本学「リテラシーレベル」では国際学部の学生と経営情報学部の全学生がA

理学的視点を持ったAI活用能力を教養知識として持つ「教育された」人材を輩出し、社会に大きく貢献します。教育プログラムは文部科学大臣認定プログラムの修了証明を得ることになります。